

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

## 研修講座 特別の教科 道徳

### 「『考え、議論する』道徳科の授業～発問の工夫～」

【講師】 岐阜聖徳学園大学 河合宣昌先生

8月19日（金）、岐阜聖徳学園大学の河合宣昌先生をお迎えし、研修講座「特別の教科 道徳」を実施しました。初めに、全ての教育活動で「話す、聴く」力の育成と話しやすい学級の雰囲気づくりをしていくことが大切であること、特にコロナ禍では、マスクをしていると表情が分かりにくいので、話している人が安心して話すためにうなずく指導をすることも有益であることを改めて学びました。

次に道徳科の特質と「考え、議論する」授業についてご指導いただきました。道徳科の特質とは、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく 時間であることを確認しました。自分の考えを持ち、考えを交流することで仲間の考え方や感じ方を理解し、もう一度自分の考えを見つめることで、道徳的課題と自分との関わりを考えることが重要であることを学びました。



後半には、道徳科の教材を使って実際に模擬授業を体験しながら、「考え、議論する」ための授業展開、発問の工夫、計画的な板書についてご指導いただきました。人間理解、価値理解をする場面での発問や自己を見つめる場面での発問について、発問を精選することの大切さを学びました。また、予想される意見をもとに板書計画を考え、どの意見を取り上げて、自分の考えと他者の考えを捉えて自己を見つめさせていくか「考え、議論する」道徳科の授業を創っていく手立てやポイントについても学ぶことができました。

#### アンケートより【一部抜粋】

- ・「考え、議論する」道徳科にしていくために子どもの発言を捉えて、「どう思う？」「なるほどと思う所は？」「考えを聴いて変化した所は？」など意図した発問を行っていくことが大切だと分かりました。(小)
- ・これまで人間理解や価値理解に関する子どもの発言を板書し、共有するところで授業が終わっていましたが、今日の研修を受けて、板書で整理した後の発問がとても大切であることを感じました。どこまで板書し、子どもたちに何を書かせ、どの意見を用いて、自己を見つめる活動につなげていくか準備しておくことが大切だと感じました。(中)
- ・道徳的価値にせまるための発問をすること、焦点化することがやはり大切であり、それにより子どもが話しやすくなり、価値理解にもつながっていくと思いました。教師がどこで考えを議論させたいのかを考えることが教材研究では大切にしていきたいと感じました。(小)